

令和5年度 事業計画

事業方針

本協会は、市民生活の充実と豊かで潤いある個性的なまちづくりに寄与することを目的に、福井市固有の歴史と文化に関する事業に引き続き取り組む。

- ・ 多くの市民に福井の歴史に関心を持っていただくため、各種歴史講座等を開催する。
- ・ 北陸新幹線福井開業を見据え、福井市歴史ボランティア「語り部」の育成、強化を図る。
- ・ 愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館、グリフィス記念館の3館が連携した取り組みを進めるとともに、(公財)日下部・グリフィス学術・文化交流基金等関係団体との連携・協力のもと、充実した展示やイベントの実施に努める。
- ・ 公益財団法人として効率的な運営に努めるとともに、情報発信の強化と状況に応じた柔軟な事業実施を図る。

事業の概要

【公益目的事業1】 歴史的環境整備の促進に関する事業

- (1) 歴史的石碑等設置
- (2) 歴史的建造物の調査

【公益目的事業2】 歴史的文化活動の振興に関する事業

- (1) 子ども歴史講座の開催
- (2) 歴史講座の開催

【公益目的事業3】 普及啓発に関する事業

- (1) 歴史ボランティア派遣事業
- (2) 歴史パンフレットの発行
- (3) ホームページの管理等
- (4) 「会報」の発行

【公益目的事業4】 歴史的拠点施設を活用した文化振興事業

- (1) 愛宕坂茶道美術館
- (2) 橘曙覧記念文学館
- (3) 橘曙覧顕彰短歌コンクール
- (4) グリフィス記念館
- (5) 愛宕坂にぎわい事業

【法人の運営】 法人の運営管理

- ・ 理事会の開催
- ・ 評議員会の開催

事業内容

公益目的事業1 歴史的環境整備の促進に関する事業

(1) 歴史的石碑等設置

協会が所管する彫像7基・石碑34基の維持管理を行い、一般の鑑賞に供する。

(2) 歴史的建造物の調査

これまでに実施した記録の保存を行う。

公益目的事業2 歴史的文化活動の振興に関する事業

(1) 子ども歴史講座の開催

子どもたちに楽しく歴史に触れる機会を提供し、体験を通して郷土の歴史に興味を持つきっかけとなる講座を行う。

■子ども歴史講座

主に小学生中高学年を対象に、市内の史跡を様々な角度から探索する体験講座を行う。

【開催時期】7月下旬の休日（夏休み期間中）

■出前講座

講演やまち歩きチラシを作成し、市内の小中学校等に配布。依頼により「語り部」を派遣し、福井の歴史を楽しく、分かりやすく伝える。

【開催時期】申込に応じて随時

(2) 歴史講座の開催

著名な歴史研究家、また、語り部や県内の歴史家等を講師に迎えて、幅広い年齢層の方々に興味をもって受講していただける歴史講座を開催し、日本や郷土福井の歴史に興味を持つきっかけとする。

■歴史講座

【テーマ】「(仮) 継体天皇の実像」

2019年に百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録されて以降、古墳（古代）が注目されていることから、令和5年度は、これまで取り上げてこなかった古代、特に継体天皇に注目したい。

地方出身の大王はなぜ誕生したのか、継体天皇の力の源泉となったのは何だったのか、古代の越前の繁栄の様子なども合わせてお話を伺う。

伝説として語られることが多い継体天皇であるが、学術的な見解を聞くことで、継体天皇をリアルに、身近に感じ、興味を持っていただける機会とする。

【開催時期】 9月24日（日） 午後

【会場】 福井商工会議所 コンベンションホール

【講師】 松木武彦氏（国立歴史民俗博物館教授）

1961年愛媛県生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士課程修了。岡山大学文学部教授を経て、現在、国立歴史民俗博物館教授。専攻は日本考古学。2008年、『全集日本の歴史1 列島創世記』（小学館）でサントリー学芸賞受賞。他の著書に『進化考古学の大冒険』『美の考古学』（新潮選書）、『古墳とはなにか』（角川選書）、『未盗掘古墳と天皇陵古墳』（小学館）『縄文とケルト』（ちくま新書）などがある。

■なるほど福井！市民歴史講座

市民に福井を再認識してもらうため、福井の歴史に関する様々な素材をテーマとし、歴史研究的なものから、歴史に絡めた娯楽性の高いものまで様々な講座内容とする。

【対象者】 福井市民

【講師】 福井市歴史ボランティア「語り部」、郷土歴史家等

【会場】 アオッサ研修室など

【開催】 年10回（1講座：60～90分）

【テーマ（仮称）】

- ①「足羽山の古墳」
- ②「朝倉義景没後450年」
- ③「勝家まちを移す」
- ④「本多富正」
- ⑤「笠原白翁」
- ⑥「城下の人々はどのようにくらしていたか」
- ⑦「旧北陸道」＊関連テーマ「街道を歩く」で歴史散歩開催
- ⑧「福井駅前の変遷」
- ⑨⑩郷土歴史家等を講師に開催（詳細未定）

■歴史散歩

福井市街、周辺地区の史跡や歴史ある社寺などをガイドと巡り、郷土の歴史を再認識する歴史散歩を実施する。

【対象者】 福井市民

【講師】 福井市歴史ボランティア「語り部」、その他現地講師等

【テーマ（仮称）】

春の歴史散歩

- ①「福井市中心部の戦後復興建築めぐり」ガイド：福井工業大学教授 市川秀和氏
- ②「桜の一乗谷ー平面復原地区を中心にー」

秋の歴史散歩（10月～11月中旬）

- ①「街道を歩く」＊関連テーマ「旧北陸道」で市民歴史講座開催
- ②「福井城の城門をめぐるー参勤交代の場合ー」

歴史ツアー（福井市所有バス使用）

- ①「国見地区の歴史をめぐる」

(1) 歴史ボランティア派遣事業

令和6年3月の北陸新幹線福井開業により歴史ガイドの依頼が大幅に増加すると見込まれることから、「語り部」の育成・強化を加速させる。

他団体との連携・協力のもと、観光客をはじめ、市民のグループや公民館、学校、企業などからの依頼に対応する。

■福井市歴史ボランティア「語り部」の派遣（依頼型ガイド・講師）

観光客や小中学校、各種団体・個人等の依頼により、福井市の歴史をテーマとした講演や福井市内の史跡の案内を行う。

【ガイド】

依頼者の要望に応じた史跡等のガイドや、団体の依頼を受け、まち歩きコースの提案なども行っている。また、歴史散策コースを用意しており、今後もコースの充実を図っていく。

【講師】

依頼者の要望に応じて講師の派遣を行っている。また、「語り部と学ぶ歴史講座」としてテーマ・講師も紹介しており、今後も講座数や内容の充実を図っていく。

■まちなか歴史ガイド配置事業（待機型ガイド）

まちなかの歴史拠点に「語り部」を配置し、訪れる市民や観光客等に対し、福井市の歴史や文化などについて説明する。

北ノ庄城址資料館

【配置日時】4月～12月中旬・3月の土・日・祝日

福井城址

【配置日時】ふくい桜まつり期間 他

○福井市歴史ボランティア「語り部」の募集について

「語り部」登録者数の増加を図るため、SNSや市政広報などを活用し広く歴史ボランティアの募集を行う。事前研修を行う他、審査を実施し適正を見極める。

○福井市歴史ボランティア「語り部」の研修について

ガイドや講師としての技能を向上させ、派遣希望先の様々な要望に対応できるよう、研修会を実施する。

- ① 実地研修などによりガイド技術の向上を図るためのガイド技能向上研修
- ② 講演内容や講演方法の向上を図るための講師技能向上研修
- ③ その他、専門家による講演、先進地視察等知識や技能向上を図るための全体研修

○福井市歴史ボランティア「語り部」の活動の発信・広報について

広く「語り部」の活動を紹介するため、様々な媒体を使った発信を行う。

- ① 「語り部」通信の発行（年4回）し、公共機関等に配布する。
- ② ブログ、インスタグラム、You Tube の更新

(2) 歴史パンフレットの発行

市民や市外からの来訪者に、福井の歴史を知っていただくための各種パンフレットを作成・配布する。現在配布中のパンフレットの内、要望のあるものや、在庫がなくなるものの中で需要が多いものを増刷する。

【配布中のパンフレット】

「福井なるほど歴史カード」 勝家とお市・結城秀康・松平春嶽・由利公正・
橋本左内・橘曙覧・細井順子・グリフィス・
日下部太郎・笠原白翁
「ふくい歴史マップ」「わたしが橘曙覧です」(子ども向け)

(3) ホームページの管理、更新

事業の広報や予算・決算等の情報公開、歴史の紹介などのため随時更新するとともに、ブログやフェイスブックも活用しながら、ホームページの充実に努める。

(4) 会報の発行

協会の活動を市民に知らせ、歴史のみえるまちづくり事業への理解を深めるため、1年間の事業の実施報告や、新年度事業のお知らせなどを掲載した「協会だより」を5月に発行。

*発行部数：4000部 配布先：市内公共施設他、ホームページにも掲載

公益目的事業 4 歴史的拠点施設を活用した文化振興事業

(1) 愛宕坂茶道美術館

■企画展・特別展の開催

茶の湯の文化を分かりやすく多くの人に伝え、より理解と関心を深めるため企画展・特別展を開催する。

企画展（3回） *館蔵品による

企画展名（仮称）	開催期間	内 容
「涼風颯々 夏の茶道具」	5月18日 ～8月27日	茶席に涼風を呼ぶ、暑い時季にあった茶道具を展示する。 【展示品】五彩魚藻分水指（中国・明時代） 縄簾鉄鉢形茶碗（近代）ほか
「茶道具 虫図鑑」	8月30日 ～11月26日	秋の展覧会にふさわしい、虫の文様が施されている茶道具を展示する。 【展示品】玉楮象谷作 紅葵香合（江戸時代） 蝶ちらし分金彩螺鈿四方盆（中国 明/清時代）ほか
「早川國一さんの 蒔絵の世界」	11月29日 ～2月25日	足羽地区の蒔絵師であった故 早川國一氏から、当館に寄贈された蒔絵の茶道具を展示する。 【展示品】片輪車蒔絵角香合（昭和時代） 八角形根来塗波にかもめ蒔絵（昭和時代）ほか

特別展「日本茶々茶 お茶紀行 幻の茶を訪ねて」-北陸新幹線福井開業記念-

会 期：令和6年3月1日～5月12日

展 示 品：碁石茶 茶葉（高知県大豊市）・阿波番茶 茶摺り舟（徳島県上勝町）など

概 要：令和6年春の北陸新幹線福井開業を記念して、全国のお茶文化を紹介する。

一般にはあまり知られていない日本各地の珍しいお茶に注目し、北陸新幹線沿線の長野や埼玉のほか、北海道、岩手、徳島など、日本各地の幻の茶と言われる貴重なお茶を取材し、パネルや茶道具、資料等でその魅力を紹介する。合わせて、福井県でも一度廃れてしまった茶の栽培や釜炒り茶に取り組んでいる団体の活動も紹介する。

■講座等の開催

茶の湯にまつわる日本文化を中心に、広く茶に関係する知識や和の心を学ぶ体験講座や茶会、子ども向けのイベントなどを開催する。

講座名等（仮称）	開催時期	内 容
体験講座 「稲武（愛知県）桶茶と 愛知のお茶を楽しむ会」	5月7日	愛知県稲武に伝わる桶茶や足助寒茶を楽しむ講座を開催する。 講師：中根めぐみ氏（日本茶インストラクター）
夏のイベント 「こども美術館・文学館」 【愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館連携】	7月26日	夏休み期間中の小学生が気軽に参加できるイベントを開催する。茶道美術館では「親子で和の小物づくり」を開催する。 講師：近藤美佐子氏（ハンドメイド講師）
体験講座 「金継ぎにチャレンジ」 （連続講座）	7月30日 8月6日	毎年人気の金継ぎ講座を開催する。 講師：駒本長信氏（駒本蒔絵工房）
【愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館 ・グリフィス記念館3館連携】 共通テーマ「虫をたのしむ」	9月中旬 ～10月	独楽吟にちなみ、「〇〇をたのしむ」をテーマに3館で連携した企画を行う。美術館では「虫」をテーマに、通常の呈茶とは違った仕様の干菓子、茶碗でもてなす。
しゃかしゃかお抹茶体験 （茶道美術館ロビー）	随時	楽しみながらお茶に親しむ機会を提供するため、自分で点てた抹茶をいただく体験を実施。
茶道体験 （茶道美術館ロビー）	随時	校外学習を対象に、茶道の心得やお茶の点て方、いただき方などを学ぶ体験講座を行う。

■管理業務・貸室業務

1年を通して、受付業務や希望者への抹茶サービス、会議室・茶室の貸与等の維持管理業務を行う。春には桜茶、正月には大福茶をふるまう。

また、美術館・文学館の情報を掲載した「愛宕坂だより」を発行する。（季刊 年4回）

【開館時間】午前9時～午後5時15分

【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始（12月28日～1月4日）

・展示替え等による臨時休館

■学芸員研修

企画展・特別展の準備等のため、県内外の美術館などへの調査・研修を行う。また、茶の湯文化学会に継続加入し、研修会に参加して茶の湯文化の知識や交流を深める。

(2) 橘曙覧記念文学館

■企画展・特別展の開催

橘曙覧を中心に文学など広く紹介するため、収蔵品や借用品による企画展・特別展を開催する。

企画展（4回）

企画展名（仮称）	開催期間	内 容
「描かれた曙覧の姿」	5月25日 ～9月3日	曙覧には写真が残されていないことから、曙覧の姿を描いた絵を紹介する。あわせて、子孫の写真から、曙覧像に迫る企画展とする。
「新・収蔵品展」	9月7日 ～12月3日	2021年、2022年に寄贈された資料を展示する。
「冬の情景をうたう」	12月7日 ～3月10日	曙覧の歌の中から、季節にあわせ晩秋から冬を詠った作品を紹介。あわせて館蔵品を展示する。
「作家たちのティータイム」	3月14日 ～5月19日	曙覧と近代文豪たち（主に福井ゆかりの作家）のティータイムを紹介する。

特別展 令和5年度は開催しない。

令和6年の大河ドラマで紫式部が主人公になることから、令和6年度特別展として「(仮)源氏物語を愛した作家たち」開催を検討しており、令和5年度は企画及び資料調査を行う。

■講座等の開催

展示だけでは紹介できない曙覧や文学の魅力を広めるため、史跡めぐりや講座を開催する。

講座名（仮称）	開催時期	内 容
短歌入門講座 独楽吟 小中学校教諭向け・一般向け (学校教育課連携)	夏休み中 10月	「楽しみ」をテーマに題材を見つけ、参加者で意見交換しながら進める講座。最後は自分で1首を完成させる。
史跡めぐり 「橘曙覧史跡めぐり」 市内散策編・勝山編	9月中旬 10月下旬	橘曙覧が訪れた場所をバスで訪れる企画。曙覧の足跡が残る場所を訪れる。市内の史跡や、勝山堀名銀山などを学芸員と共に訪れる。
体験講座 「古典をたのしむ 美文字レッスン」(全6回)	6・7・8 9・10・11月 各月1回	古典文学をペンで書き、文字に向き合う講座。2024年の大河ドラマに合わせ、源氏物語を題材とする。講師：吉水奈方子氏（書道講師）
夏のイベント 「こども美術館・文学館」 【愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館連携】	夏休み 期間中 3回	小学生が気軽に参加できるイベントを開催する。文学館では「感想文を書くコツを学ぼう」を開催する。
【愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館 ・グリフィス記念館3館連携】 共通テーマ「虫をたのしむ」	9月中旬 ～10月	独楽吟にちなみ、「〇〇をたのしむ」をテーマに3館で連携した企画を行う。文学館では曙覧の虫の歌を紹介するミニ展示やクイズなどを予定。
朗読会	11月	大人向けの朗読会を開催。文学館の雰囲気の中で短編作品の朗読と音楽の演奏を開催する。

■学芸員研修・調査

企画展開催のため県内外施設への調査・協力依頼を行う。また、全国文学館協議会に継続加入し、研修会に参加して文学館展示運営について知識を得ると共に、他館との情報交換を行う。
また、橘曙覧資料の調査、次年度以降特別展企画のための調査を行う。

■管理業務・貸室業務

1年を通して、受付業務や貸室その他の維持管理業務を行う。また、美術館・文学館の情報を掲載した「愛宕坂だより」を発行する。(季刊 年4回)

【開館時間】 午前9時～午後5時15分

【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12月28日～1月4日)

・展示替え等による臨時休館

(3)第29回 橘曙覧顕彰短歌コンクール募集及び表彰式の実施

郷土の誇る幕末の歌人・橘曙覧への関心・知名度を高めることを目的に、【独楽吟部門】として生活の中で感じた身近な楽しみを詠んだ短歌を、【自由短歌部門】として正岡子規に絶賛され革新的な和歌を詠んだ曙覧にちなみ自由詠の短歌を、それぞれ全国から募集する。

また、令和6年度は第30回目となることから記念事業等の検討を行う。

募集作品	【独楽吟部門】 「たのしみは」で始まり「…とき」で終わる短歌 【自由短歌部門】 自由詠の短歌
募集期間	令和5年9月1日～11月30日(予定)
発表 表彰式	審査終了後入賞者に直接通知し、表彰式で全賞を発表 表彰式は令和6年3月予定
賞(予定)	橘曙覧賞・福井市長賞・福井市教育委員会賞・福井新聞社賞・日本放送協会福井放送局長賞・福井中央郵便局長賞・熊本市賞(独楽吟部門のみ)・歴史のみえるまちづくり協会理事長賞・学校賞(福井本丸ライオンズクラブ・独楽吟部門のみ)
秀作	20首
審査員	歌人等 【独楽吟部門】4名 【自由短歌部門】4名

(4)グリフィス記念館

■イベントの開催

常設展では解説しきれていないグリフィスの側面や人との交流などにも触れ、グリフィスや当時の福井への理解をさらに深めるため、毎月展示・イベント等を開催する。

講座名等（仮称）	開催時期	内 容
福井の古い写真展示 「不死鳥のまち「空襲」」	5月	福井市立郷土歴史博物館所蔵する、福井の古い町並みの写真を展示する。
国際交流イベント	6月	（公社）ふくい市民国際交流協会所属の在日外国人の協力によるイベントを開催する。
季節の行事 「七夕」	7月	館内に竹を設置し、来館者向けに、願い事を書く色画用紙を用意する。
体験講座（子ども向け）	8月	洋館の室内空間に適した「体験型」講座を開催する。
展示・講座	9月	グリフィスの事績及び関連の歴史事実を発信する。
【愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館 ・グリフィス記念館3館連携】 共通テーマ「虫をたのしむ」	9月中旬 ～10月	独楽吟にちなみ、「〇〇をたのしむ」をテーマに3館で連携した企画を行う。記念館では、グリフィスのおとぎばなしを紹介する。
季節の行事 「ハロウィン」	10月後半	館内にハロウィンの装飾を行う。
体験講座 「季節のワークショップ」	11月	洋風建築の雰囲気と季節にあった講座を開催する。
季節の行事 「クリスマス」	12月	（公財）日下部・グリフィス学術・文化交流基金と連携したイベントを行う。 館内にクリスマスツリーなどの装飾を行う。
福井の古い写真展示 「不死鳥のまち「震災」」	1月	福井市立郷土歴史博物館が所蔵する、福井の古い町並みの写真を展示する。
体験講座 「季節のワークショップ」	2月	洋風建築の雰囲気と季節にあった講座を開催する。
展示・講座	3月	グリフィスの事績及び関連の歴史事実を発信する。

* 4月のイベントは愛宕坂にぎわい事業予算

■管理業務・貸室業務

1年を通して、受付案内業務や貸室その他の維持管理業務を行う。

【開館時間】 午前10時～午後7時（12月～2月は、6時閉館）

【休館日】 年末年始（12月28日～1月4日）・臨時休館日

(5) 愛宕坂にぎわい事業

福井市が実施する「愛宕坂灯の回廊」の開催に合わせて、夜間開館や来館者向けの音楽イベントなどを行うことによって、多くの市民が歴史ある愛宕坂を知り、訪れる機会を提供する。

■期間中受付業務 【開催期間】 3月25日(土)～4月9日(日)

【開館時間】 9:00～21:00

■抹茶サービス業務 【場所】 愛宕坂茶道美術館ロビー

【時間】 10:00～20:00

■イベント等の開催

会場	開催日	内容
愛宕坂茶道美術館	期間中	茶室「尚庵」通路にフотスポット設置 「メガネアカリの小回廊」
	期間中に3回	ワークショップ「ランプを作ってみよう！」
	期間中に各1回	振茶ふるまい 「バタバタ茶(富山・新潟)」「ぼてぼて茶(島根)」
橘曙覧記念文学館	4月1日 2回	愛宕坂桜音楽会 2023 「CHANPRU-CHAMBRE ちやんぷるーしゃんぷる 沖縄唄三線とアコーディオンライブ」
	4月8日 2回	春のスペシャルマジックショー
	期間中の金土日	手提灯 無料貸し出し
グリフィス記念館	各日2回	春の音楽会
	4月1日	フルートとピアノ
	4月2日	民族楽器アンサンブル「豪音」
	4月8日	ジャズ(武田幸夫トリオ)
	4月9日	ヴァイオリン・コントラバス・ピアノ
期間中	生花による館の装飾	

法人の運営

■理事会の開催予定

第1回 通常理事会 【開催時期】 令和5年5月下旬
【議案】 令和4年度事業報告・決算報告 他

第2回 通常理事会 【開催時期】 令和6年2月下旬
【議案】 令和6年度事業計画・予算 他

■評議員会の開催予定

第1回 定時評議員会 【開催時期】 令和5年6月中旬
【議案】 令和4年度事業報告・決算報告 他

第2回 評議員会 【開催時期】 令和6年3月中旬
【議案】 令和6年度事業計画・予算 他